

1年研究授業の成果と課題

① 資料の効果的な活用のための工夫（考えをもたせる手立て）

成果

- ・ 共通体験をすることで児童が活動をイメージし、その後の活動の計画を立てやすくなった。児童の振り返りからも、共通体験の有効性を感じられた。

課題

- ・ 家庭環境の違いで、体験内容が当てはまらない児童もいた。

② 課題設定、活動に興味、関心をもたせるための工夫（主体的な学びにつなげる手立て）

成果

- ・ 単元全体を通してねらいが明確だったことで、児童が主体的に動いていた。
- ・ 家庭で実践することへの意欲をもつために、自分で選ぶということに重点を置いたことで主体的な活動につながった。

③ その他

成果

- ・ 視点を広げる発問によって、児童の気づきが広がったのがよかった。
- ・ 気づきや学びのある発問や声掛け（教師の働きかけ）がすばらしい。

課題

- ・ 本時の終わりとして、「できた！」を持ち帰らせるところまでOKとするか、さらに活動の工夫まで求めるか。

④ 児童の変容・教員の指導の工夫（事後研究）

児童

- ・ 資料をから必要な情報を読み取ろうとする意欲が高まった。
- ・ 課題に解決に必要な情報を読み取ることで、自分の考えの根拠になることに気が付く児童が増えた。

教員

- ・ 学習課題が児童にとって身近で関心が高まるように、資料を吟味し、提示方法や精選することを続けている。

